

学校保健委員会を効果的に 機能させるための手立てについて

〔家庭や関係機関との連携を図りながら〕

平成21年 2 月
秋田市教育委員会

学校保健委員会を効果的に 機能させるために

学校では、子どもたちが健やかに成長することを願い、生涯を通じて主体的に健康を保持増進できる児童生徒の育成をめざして、健康教育を進めており、各教科、道徳、特別活動などの学習活動を含む全教育活動をとおして指導を行っています。

しかし、児童生徒の健康問題は、肥満症、歯科疾患、視力低下、アレルギー性疾患等の身体的な問題や、孤立感、無気力等の心の問題など多岐にわたっており、学校だけでは解決できないことが多いことから、学校、家庭、関係機関が緊密な連携を図りながら対応することが重要と考えます。

学校保健委員会は、児童生徒の健康問題について、学校、保護者、関係機関等が協議するための組織であり、効果的に機能させることで健康教育の推進につながるものと考えます。

本冊子は、学校保健委員会をより効果的に機能させるためには、年間を通じて計画的に実施することをはじめ、学校と保護者、関係機関が連携し企画・運営すること、学校保健委員会の内容の充実を図ること、さらには協議内容を実践に生かす工夫をすることが重要であると考え、次の4点について提案するものです。

- 1 P T A 役員との連携
- 2 学校医等との連携
- 3 協議テーマの設定、
開催形態の工夫
- 4 協議内容を実践等に生かす工夫

平成21年2月

秋田市教育委員会

● 1 P T A 役員との連携

子どもの健康課題の解決や健康づくりの推進には、学校と家庭との連携が不可欠です。学校保健委員会の意義や必要性を P T A 役員に理解してもらうとともに、企画段階から P T A 役員と連携することで、課題解決に向けた方策に広がりや深まりが期待できます。

また、P T A 組織の中に学校保健委員会専任の P T A 役員を置くことなど、P T A の組織を工夫することが、学校保健委員会の活動の活性化につながると考えます。

そこで...

【提案 1】 P T A 役員と事前打合せ会を開きましょう。

学校保健委員会の企画や運営について、P T A 役員と一緒に会合を開き、話し合しましょう。

- 構成メンバーは、学校から 2 ～ 3 名程度（管理職、保健主事、養護教諭等）、P T A 役員から 3 名程度（正副会長、保健部の正副部長等）にするなど、活発な意見が出やすいように参加者の人数に配慮しましょう。
- 事前打合せ会では、子どもの実態（健康課題）、地域や保護者の要望などを共有するとともに、次のことを協議しましょう。
 - ・ テーマの設定、年間の活動計画、開催形態、開催内容、役割分担など

P T A 役員との事前打合せ会の例

- ・ 学校保健委員会の意義や必要性を確認した後、今年のテーマなどについて話し合う。また、P T A 保健部員が役割を分担し、意欲的に取り組めるように配慮する。
- ・ 学校保健委員会のテーマに基づき、P T A 保健部員が保護者の意識を事前調査し、傾向を分析する。

〈事前打合せ会の開催例〉

	A 学校	B 学校
役職及び人数	<ul style="list-style-type: none"> ・ P T A 正副会長（1～2名） ・ 保健部長 ・ 教頭 ・ 養護教諭 <p style="text-align: center;">〔計4～5名〕</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ P T A 副会長（1名） ・ 学校保健委員会（専任）正副委員長（2～3名） ・ 教頭 ・ 保健主事 ・ 養護教諭 <p style="text-align: center;">〔計5～6名〕</p> <p>※作業を伴う場合は、役職や人数に関係なく、適宜集まる。</p>
時期と回数	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校保健委員会開催の2ヶ月位前に P T A 役員と連絡調整し、日時を決める。 <p style="text-align: center;">〔年2回〕</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1回目は5月頃に開催する。 ・ その後は学校保健委員会運営委員会として随時、開催する。 <p style="text-align: center;">〔年3～4回〕</p>
会合の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 顔合わせ ・ テーマや内容の決定 ・ 講師の選定、講話の内容 ・ 役割分担 ・ その他 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 顔合わせ ・ テーマや内容の決定、役割分担 ・ 年間の活動計画の立案 ・ 事前保護者アンケートの作成および実施後の分析 ・ 学校医等への質問事項の確認 ・ その他
当日の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・ 司会進行 ・ 開催内容の記録 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 司会進行 ・ 開催内容の記録 ・ 事前保護者アンケート結果の報告
事前打合せ会の利点等	<ul style="list-style-type: none"> ○当日の進行がスムーズとなり、協議内容に深まりが期待できる。 ○ P T A 役員の意識が高まり、学校保健委員会に積極的に関わる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校保健委員会専任のため、健康に対する意識が高く、積極的に取り組む。 ○ P T A 役員と学校関係者が共に話し合い、計画・立案することで、内容が充実する。

● 2 学校医等との連携

学校医、学校歯科医及び学校薬剤師は、学校保健活動の推進のために次のような重要な役割を担っています。

- ・学校における健康診断、健康相談、環境衛生検査等にあたる。
- ・学校保健安全計画の策定に参画する。
- ・校長をはじめ、保健主事、養護教諭等に対し、それぞれの専門的立場から指導と助言を与え、保健活動の効果的な実施を促進する。
- ・健康教育の充実に向け、学習指導等への協力や教職員への研修に取り組む。

学校は、学校保健活動を円滑に推進するために、学校医、学校歯科医および学校薬剤師と日常的に連絡をとり、共通理解を図りながら学校保健活動を進めていくことが大切です。

そこで...

【提案2】 日常的に学校医、学校歯科医 学校薬剤師との連携を図りましょう。

- 健康診断の事前打合せを含め、相談したいことがある場合は、遠慮することなく学校医等と連絡を取りましょう。学校医等の仕事の事情を把握し、時間の都合に合わせて電話連絡をしたり、直接訪問して相談するとよいでしょう。また、EメールやFAX等で連絡を取り合う方法もあります。
- 学校医等から児童生徒の健康問題や感染症についての最新情報を伺ったり、また、学校から保健活動の取組について、情報提供をしたりしましょう。情報提供には「保健だより」や「学校保健委員会だより」等を送る方法があります。また、必要に応じ諸検査の結果について報告し、専門的な助言を受けましょう。

学校医等との連携の例

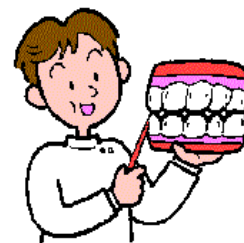
(1) 日常的な連携について

- ・定期健康診断前には学校医を直接訪問し、問診票の確認や健康診断の仕方など、打合せをする。
- ・健康診断後の事後指導のために、学校医から専門的な助言を受ける。
- ・伝染病や感染症が発生したときに、速やかに学校医に相談し、児童生徒への対応や学校や家庭での衛生管理等について助言をいただく。



(2) 児童生徒に対する保健指導等について

- ・保健学習や学級活動の時間に、学校医から心と体の成長や睡眠の大切さなどについて講話をしていただく。
- ・学級活動の時間に、学校歯科医から、歯みがき指導をしていただく。
- ・全校集会で、学校薬剤師から、薬物乱用防止について講話をしていただく。



学校医、学校歯科医、学校薬剤師は、学校保健委員会の重要なメンバーであり、専門的立場から指導助言を行います。学校保健委員会を効果的に機能させるためには、企画段階から学校医等に意見を伺ったり、相談したりすることが大切です。

そこで...

【提案3】 学校医等の意見を 事前打合せ会に反映させましょう。

- 学校保健委員会を効果的に機能させるためには、企画段階から学校医等と相談することが望ましく、事前打合せ会への参加を呼びかけてみましょう。打合せの時刻は、診察時間などに配慮しましょう。都合がつかない場合は、足を運んで直接、話を伺ったり、電話で前もって意見を伺っておく方法もあります。

学校医等との事前打合せ会の例

- ・児童生徒の健康診断の結果や、今日的な健康課題等をふまえ、テーマや協議内容について相談する。
- ・学校保健委員会において、指導助言してもらいたい内容等について相談する。
- ・PTA役員との事前打合せ会に参加してもらい、年間計画やテーマ等について話し合う。

● 3 協議テーマの設定、開催形態の工夫

学校保健委員会を効果的に機能させるためには、適切なテーマのもと、ねらいに沿った開催形態を工夫することが大切です。形態としては、協議会、講演（講話）会、パネルディスカッションなどが考えられますが、それぞれの組み合わせにより、バリエーションが広がります。

そこで...

【提案4】協議テーマを設定し、開催形態を工夫しましょう。

- 協議テーマ（協議題）の設定にあたっては、児童生徒の実態（諸検査や諸調査の分析）、保護者や地域の要望、今日的健康課題などを考慮することが大切です。
- 開催形態は、協議会形式のほか、授業参観や講演（講話）会、実技指導、パネルディスカッションなどを取り入れるなど、協議テーマやねらいに沿って工夫しましょう。どの形態においても協議の時間を設け、実践にむけた取組を話し合いましょう。

〈開催形態に関するメリットと配慮事項〉

開催形態	メリット	配慮事項
協議会	活発な意見交換ができ、協議に深まりがある。	開催後、協議内容を児童生徒や保護者へ周知する。
児童生徒の活動（発表、保健集会等）および協議	児童生徒の健康意識の高まりが期待できる。	児童生徒の発表について、子どもと保護者の意見交換の場を設ける。
授業参観および協議	学校で行われている保健教育の授業を参観することにより、保護者の理解が深まる。	授業内容と協議との関連性が重要である。
講演（講話）会および協議	知識の広がりや意識の高まりが期待できる。	講演（講話）内容と協議との関連性が重要である。
実技指導（救急救命、調理実習等）および協議	知識の広がりや意識の高まりそれに、技能の習得が期待できる。	実技指導の内容と協議との関連性が重要である。
パネルディスカッションおよび協議	様々な立場の人からの意見を聞くことにより、意識の深まりと活発な意見交換が期待できる。	児童生徒、保護者、学校医等、養護教諭、学校栄養職員等、様々な立場のパネリストを選定する。

協議テーマの例

- 心肺蘇生法とAEDについて
- 命の大切さと救急救命
- 食から考える親子教室
- 子育てにおける心身の健康づくり
- 「疲れ」について
- あなたの口の中、今のままで大丈夫？
- 健康な生活を送るためのおやつ摂り方
- 運動・睡眠・食事などのライフスタイルの改善
- 人の一生と歯（8020運動をめざして今できること）

開催形態の例

協議会

協議が中心となる形態

- 児童生徒の実態について資料を準備し、特に、生活習慣については、毎年調査し、変化を比較しながら協議する。
- 幼稚園長や中学校長、保健師、民生児童委員等を招き、地区の子どもの健康問題を共有化し、解決するための方策を考える。幼・小・中の連携を意識して協議する。



発表会や保健集会

児童生徒が参加する形態

ここでは、生徒が総合的な学習の時間に研究したことの発表をもとに、生徒と保護者が共に協議する例を紹介する。

生徒の発表（総合的な学習の時間）を取り入れた学校保健委員会（中学校）	
協議テーマ	「食と健康」について
参加対象者	学校保健委員会委員、学校医等、保護者、教職員、全校生徒、小学校校長、小学校養護教諭
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ○「食と健康」の研究発表・・・1年生生徒 ○「食と健康」についての取組と生徒の様子・・・養護教諭 ○指導助言・・・学校医、学校歯科医 ○質疑応答
成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・例年、学校保健委員会に生徒の総合的な学習の研究発表を取り入れている。調べ学習をとおして、生徒自身は健康と食生活の関連について正しい知識を得ることができる。また、全校生徒を含め、参加者が研究発表を聞き、意見交換することにより、研究成果の共有化を図ることができる。 ・総合的な学習の時間の研究テーマと学校保健委員会のテーマとの関連を図ることが大切である。そのための教職員の共通理解が必要である。

授業参観

協議を行う前に授業を参観する形態

ここでは、命の大切さをメインテーマとし、性に関する教育の在り方について協議した学校保健委員会を紹介する。

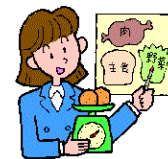
授業参観（特別活動）を取り入れた学校保健委員会（小学校）	
協議テーマ	「命の大切さ」
参加対象者	学校保健委員会委員、学校医等、保護者、教職員、助産師
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ○授業（4～6年生児童） <ul style="list-style-type: none"> ・助産師による出前講座「命の大切さ」 ○学校保健委員会 <ul style="list-style-type: none"> ・「性に関する教育」の実際を紹介・・・養護教諭、学級担任 ・性犯罪と薬物乱用について・・・学校薬剤師 ・質疑応答、協議
成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・学校で行っている「性に関する教育」について、授業参観や担当者からの説明をとおして、参加者へ伝えることができた。 ・「命の大切さ」について、親が子どもたちへ様々な機会をとおして教えていかなければならないことを共通理解した。 ・授業参観後に学校保健委員会を開催することにより、協議する視点が焦点化され、テーマへより近づくことができた。

講演（講話）会、実技指導

外部講師を招いて開催する形態

ここでは、食をテーマとし、近隣校の学校栄養職員による講話会を取り入れた例を紹介する。


学校栄養職員による講話会を取り入れた学校保健委員会（小学校）	
協議テーマ	「体や心の成長に及ぼす食について考える」
参加対象者	学校保健委員会委員、学校医等、教職員、保護者 学校栄養職員（近隣校から招く）
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ○保健集会の紹介 <ul style="list-style-type: none"> ・食の栄養とその行方・・・児童保健委員会 ○アンケート調査の報告 <ul style="list-style-type: none"> ・生活調査と朝食のメニュー・・・養護教諭 ○講話 <ul style="list-style-type: none"> ・食べてほしい1日の栄養食品・・・学校栄養職員 ○質疑応答、協議
成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・おやつのかき方、野菜の摂取量の不足、好き嫌い、調理の工夫についてたくさんの意見交換がなされた。保護者は栄養面だけでなく、心を込めた食事作りの大切さも実感できたようだ。 ・近隣校の学校栄養職員を招いての講話は、専門家としての説得力があり、1日の栄養となる食品の目安量を実物で見ることにより真実味があった。



パネルディスカッション

複数のパネラーが意見を述べ、協議する形態

ここでは、保護者や学校医、生徒代表等がパネラーとなり、1つのテーマに沿って、それぞれの立場から意見を述べた例を紹介する。

パネルディスカッションを取り入れた学校保健委員会 (中学校)	
協議テーマ	健康と学力について考える～睡眠・食事と学力との関係～
参加対象者	学校保健委員会委員、学校医等、保護者、全校生徒、教職員
内 容	 <ul style="list-style-type: none"> ○パネルディスカッション (コーディネーター: P T A会長) <ul style="list-style-type: none"> ・「生徒健康調査」結果の報告・・・養護教諭 ・睡眠不足と偏った食事・・・生徒代表 ・朝食は脳を活動させるエネルギー・・・学校栄養職員 ・生命維持のための睡眠の重要性について・・・学校医 ・家族一緒の食卓・・・P T A副会長 ○質疑応答・協議
成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の感想から、学力と睡眠・食事が深く関係していることに気づいたことが伺われた。その後の健康調査では、就寝時刻や朝食摂取状況の改善がみられ、パネルディスカッションでの学びの成果が表れたものとする。 ・計画立案、パネリストの選定、準備、連絡等、教職員やP T A関係者との事前の打合せが大切である。

小中学校合同開催

学区の小中学校が合同で開催する形態

ここでは、「心の健康」をテーマに学区の小中学校が合同で学校保健委員会を開催した例を紹介する。

1 中学校 3 小学校の合同開催 (小学校、中学校)	
協議テーマ	心の健康について
参加対象者	学校保健委員会委員、学校医等、保護者、教職員、臨床心理士
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ○心に関するアンケート調査結果の発表 <ul style="list-style-type: none"> ・小6年生と中学生の調査結果より・・・養護教諭 ○グループ別話し合い <ul style="list-style-type: none"> ・テーマ: 子どもの心の安定を図るために 10グループ (司会:保護者、記録:教師) ○講話 <ul style="list-style-type: none"> ・子育てにおける心身の健康づくり・・・学校医 ○指導助言
成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校が中心となり、3小学校と連絡調整しながら準備を進めた。4小中学校の教員、保護者、地域の方々が一堂に会する良い機会となり、その後、同じ目線で子どもたちを見守ることができた。 ・小中合同開催の場合は、年度当初の計画に盛り込み、学校間の共通理解が必要である。

● 4 協議内容を実践等に生かす工夫

健康問題の解決や健康づくりの推進のためには、学校保健委員会後に教職員や児童生徒、保護者に協議した内容を周知するとともに、実践に生かす取組をしていくことが重要です。

そこで...

【提案5】 協議した内容を実践に生かしましょう。

協議後、学校では何をどう取り組むのか（子どもにどう指導するのか）、家庭では何にどう取り組むべきかなどを教職員や保護者に周知し、共通理解のもとに実践に移すことが大切です。

また、取組についての評価を行い、その結果を次年度の活動に生かすようにしましょう。

- 職員会議で報告するなど、職員間の共通理解を図る。
- 保護者へは、学校報、学校保健委員会だより、ホームページ等で紹介し、家庭での実践を促す。
- 協議した内容について、児童会活動、生徒会活動をとおして実践する。
- 出席した保護者や学校医等から反省や感想をよせていただき、会の運営について評価し、次年度への活動に生かす。

事後活動と評価の例

- ・ 協議内容をPTA懇談会でクラス代表が報告し、話題にする。
- ・ 学校保健委員会の内容を学校報の中で取り上げ、学区の全世帯に配布する。
- ・ 運動・睡眠・食事などのライフスタイルの改善のため、保護者と協力して、生活がんばりカードの作成や朝食レシピの紹介、玄関に健康テーマの看板の設置など実践活動を行う。
- ・ 幼児期からの外遊びの減少が、子どもの体の硬さや心の健康の問題（無気力）につながっていると言われることから、運動に関するアンケート調査を実施し、子どもたちの状況を把握するとともに、親子で体を動かすことのできる運動施設の紹介をする。
- ・ 会議の内容や持ち方について、会議参加者にアンケートをとる。
- ・ 学校評価の中に学校保健委員会の項目をいれ、全教職員で評価する。結果を次回の学校保健委員会に生かす。

ここでは、協議内容を実践に生かすためのPTA活動と学校内での取組を紹介する。

協議内容を実践に生かすためのPTA活動		
学校保健委員会終了後、協議内容を受けて、PTA保健部会を開催する。健康課題解決のために家庭でできることを話し合い、参考資料を作成し、各家庭へ配布する。PTA保健部会の5年間の取組である。		
年度	テーマ	事後活動の内容（5年間の取組）
H15	「食事」	□各家庭から募集したアイディア料理のレシピ集を作成し配布する。
H16	「運動」	□歩数を調査し、学区内のウォーキングマップを作成し配布する。
H17	「睡眠」	□各家庭の健康生活家訓を載せた健康カレンダーを作成し配布する。
H18	「歯・口」	□歯によい料理のレシピ集を載せた健康カレンダーを作成し配布する。
H19	「心」	□ファミリーで楽しめるレジャースポットを載せた健康カレンダーを作成し配布する。

協議内容を実践に生かすための校内での取組	
生活リズムの中で睡眠に焦点をあて、学校保健委員会で協議した。その内容を受けて、教職員に共通理解を図り、学校でできることを実践に移した。	
テーマ	事後活動の内容
生活リズムの確立（睡眠について）	<ul style="list-style-type: none"> ○学校保健委員会での協議内容をPTA懇談会で話題にする。 ○校内の保健安全指導部会や職員会議で指導事項について説明し、教職員の共通理解を図る。 ○十分な運動が早寝の習慣をつくることから、毎朝の5分間走、体育教室の開催等、遊びと運動の日常化を図る。 ○学級活動等の時間をとおして睡眠の大切さを学習したり、生活リズムの振り返りカード等を活用したり、実践化へ結びつける手立てを講じる。



(保健主事の手引き〈三訂版〉参照)

昭和24年11月文部省「中等学校保健計画実施要領（試案）」

各校において学校保健委員会を設置することが示された。

昭和33年6月16日付文部省体育局長通達（昭和33年学校保健法が公布） 「学校保健法および同法施行令等の施行に伴う実施基準について」

学校保健委員会を学校保健計画に盛り込み、計画的に実施することが求められた。

昭和47年12月20日文部省保健体育審議会の答申

学校保健委員会が学校保健活動の推進に機能していない現状を打開するために、学校における健康の問題を研究協議し、それを推進するための学校保健委員会の設置を促進し、その運営の強化を図ることが求められた。

平成9年9月保健体育審議会答申

(学校保健委員会・地域学校保健委員会の活性化)

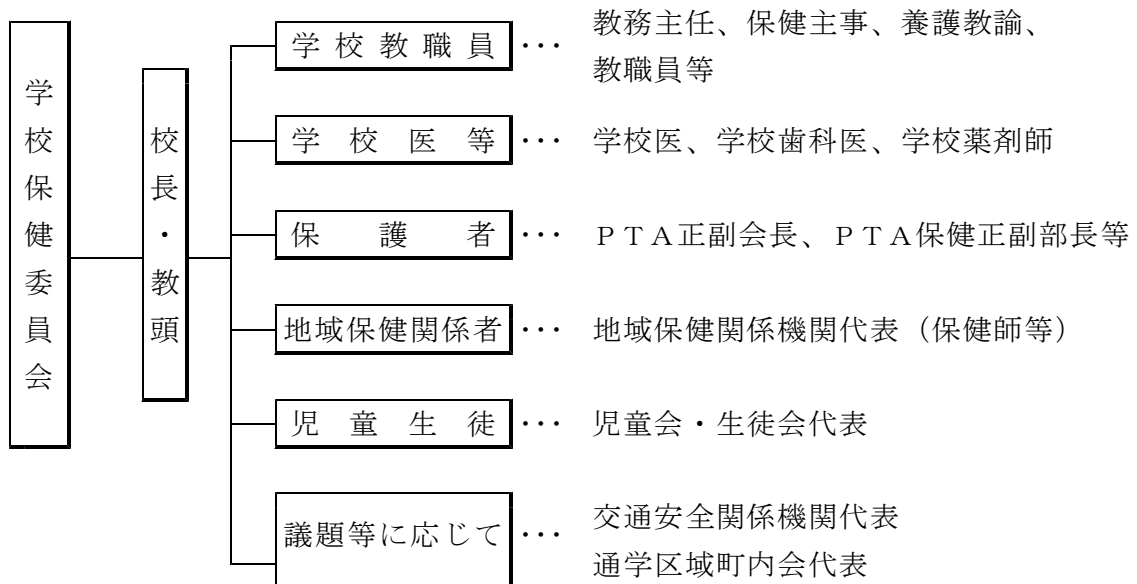
学校保健委員会は、学校と家庭・地域社会を結ぶ組織であり、地域学校保健委員会として連携して行うことが必要であると示された。



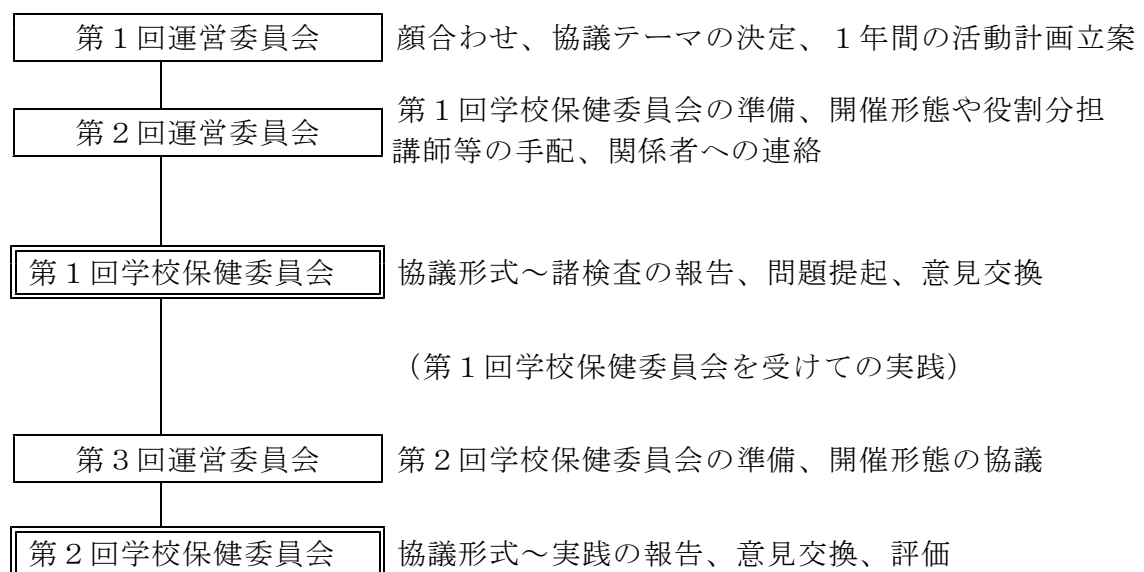
- 学校保健委員会の開催及びその活動の計画について、学校保健計画に盛り込み、年間を通じて計画的に実施するものである。
- 学校保健委員会は単なる審議の機関としてではなく、専門事項の研究や実施上の諸問題を協議するなど、学校保健の推進的役割をもつものである。
- 学校における健康教育の推進のために、運営の強化を図ることが必要である。校内の協力体制の整備はもちろんだが、外部の専門家の協力を得ながら、学校と家庭・地域社会を結ぶ組織として学校保健委員会を機能させる必要がある。

学校保健委員会の組織は固定化、画一的にとらえるのではなく、学校が当面している問題を解決するのにふさわしい、より機能的な組織を考え、弾力的に年々、改善を加えていくことが望まれる。

〔組織構成の例〕



健康教育推進のために、1年間の見通しをたて、計画的に開催する。運営委員会の回数は、学校の実情に合わせて開催する。



年間の見通しの例：小学校（学校保健委員会 年2回）

テーマ：「快眠、快便！ 楽しく遊んで体力UP！ パート2」

第1回運営委員会（事前打合せ会1）
顔合わせ、協議テーマの決定、1年間の活動計画の立案

5月下旬

第1回学校保健委員会
演題：「子どもの体力づくりと自律神経」
講師：学校医（内科）

6月中旬

保健講話
演題：「もっと歩こう」
講師：地区子供安全パトロールボランティア
対象：4～6年生児童

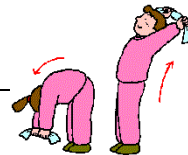
6月中旬

第2回運営委員会
運動がんばりカードの作成
（児童へ夏休み前に配布し、夏休み後に回収する）

7月上旬

P T A 教育講演会
演題：「のばして ゆれて 楽しく 心と体をリフレッシュ」
講師：インストラクター
対象：保護者

10月上旬



第3回運営委員会
運動がんばりカードの点検
第2回学校保健委員会の発表資料作成

11月上旬

第4回運営委員会（事前打合せ会2）
第2回学校保健委員会の打合せ

11月中旬

第2回学校保健委員会
各担当から実践したことの発表・・・P T A 役員、体育主任
次年度のテーマの検討

11月下旬

年間の見通しの例：中学校

(学校保健委員会 年1回)

テーマ：「食生活について考えよう」

第1回運営委員会（事前打合せ会1）

顔合わせ、学校保健委員会の時期の確認（12月のPTAで開催）

5月上旬



学校保健委員会の委員全員へ12月のPTAで学校保健委員会を開催することを通知

7月中旬

小学校の学校栄養職員へ協力を依頼

10月中旬

「ライフスタイルアンケート」の実施・・・生徒対象

10月下旬

「食生活についてのアンケート」の実施・・・PTA会員対象

11月上旬

「食事についてのアンケート」の実施・・・生徒対象

11月上旬



第2回運営委員会（事前打合せ会2）

「食生活についてのアンケート」調査のまとめ
アイデア朝食メニューの考案



11月下旬



第1回学校保健委員会

第1部【協議会】（参加：学校保健委員会委員、学校医等、教職員）

報告：「学校保健計画について」・・・養護教諭

「健康診断の結果について」・・・養護教諭

指導助言：「偏食について」・・・学校医

「アレルギー性鼻炎の対処法」・・・学校薬剤師

12月上旬

第2部【保健集会】（参加：学校医等、保護者、全校生徒、教職員）

報告：「ライフスタイルアンケート」結果・・・養護教諭

インタビュー：栄養士の先生に聞こう・・・生徒保健給食委員

報告：「食生活についてのアンケート」結果と「アイデア朝食メニュー」の紹介・・・PTA保健体育部

質疑応答、感想発表

学校保健委員会の年間の見通し（1年間の流れ）

学校保健委員会は、健康教育推進のために、学校、家庭、関係機関等が連携し、児童生徒の健康問題を解決することをめざして研究協議する組織である。
学校保健委員会を効果的に機能させるためには、1年間の見通しをたて計画的に開催することが大切である。

